編集後記

どういう風の吹き回しで、本誌の編集のお手伝いをさせて頂くことになったが、これは大変な仕事であるということにやっと気が付いた。3〜4ヶ月に一度、1編かせいぜい2編程度の論文を読むも良いのだから、そう大変であるまいとなたをうくっていたのであるが、そうではないことが分かった。本誌は、その性格上、学位論文の投稿が多い。学位論文なるものは、考えてみると、臨床の専攻医あたりでは、数十年になんとかとする、杏林人生の総決算的で大事のよるものである。勢い著者の死の様子が薄気にのように行間から立ち昇り、なかなか意味が掴めないことが多い。特に、編集室に勤め込んで来たものの中には、2度、3度と読み返してみても、文字不明のものがある。結果、推敲に推敲を重ねた結果、意味不明となったのである。他人事と笑っては済まされない。文章がおかしいと言って、読読しても良いのように思えるが、そうにも行かないところが大変な仕事な所である。和文はまだ良いとして、英文になると大変さの度合いは益々強まる。なんと変な英語だ、何うことは良く分かるが、行間から立ち昇る毒気が強すぎて、簡単には手を付けられない。本誌には、従来は専属の英文校正者がいたのであるが、最近は校正の事情により不在となってい。従って、投稿される方は、いい加減な英語で投稿しても、なおして貰えるだろう、などと安心に考えず、前もってしっかりした native speaker の方に見てもらい、きちんととした英文で提出されるのが良いように思われる。その方が結局、速やかに受理されることになる。適当な英文校正者に当たる人がいない場合は、本誌編集部（内線:3314）に問い合わせると、適当な方を紹介して頂けるとのことであるので、大いに利用して頂きたいというのが、編集者のつぶやきである。

（脇坂 晃）

編集委員

（長）渡辺 言夫

福住 直由 花岡 建夫 脇坂 晃 水野 明

総務 岳幸 雄 武正 建一 吉野 佳一 村川 章一郎

（編集事務）下村 政光 昌山 悦子

杏林医学会雑誌 第24巻 第4号（会員無料配布）

平成5年12月31日 印刷
平成5年12月31日 発行

編集人 渡辺 言夫

発行所 杏林医学会
東京都三鷹市新川6-20-2
杏林大学医学図書館内
振替口座 東京6-177033 番

印刷所 一ツ橋印刷株式会社
東京都高島屋上大崎3-12-15